



畜産基地建設進む

変貌する辺志切台地、

正式名「肝属第二区域畜産基地建設事業」の一環である

辺志切地区の畜産基地建設事業が着々と進んでいます。

この地区は昭和58年度に着工し、昭和61年度完成予定です。現在は全体の30パーセントほど工事が進んでいます、昭和58年度分の事業としては約90パーセント進行しているのが現状です。

畜産基地が完成すると、総面積が32・8ヘクタールとなります。

大規模で、しかもながめのよい高台にある畜産基地をぜひ一度ごらんください。

人 口

基本台帳人口 昭和59年4月1日現在		前月との 増 減
男	2,060人	△36人
女	2,240人	△44人
計	4,300人	△80人
世帯数	1,447戸	△15戸

健康だより
健康はみんなの
願い

今年の冬は例年になく長く寒さの厳しい年だった為、まだ働きざかりの人が成人病で倒れています。さまざまな生活環境の変化・ストレス社会の中で高血圧社会を生き抜く為には「成人病に対する予防」しかないと思います。又予防が最大の治療となり、予防することにより確実に少なくなっていく病気が脳卒中、あるいは心臓病です。脳・心臓・血管系の病気の多くは、動脈硬化と非常に密接な関係があり「人間は動脈と共に老いる」と言われますが、高血圧や過剰のコレステロール等、動脈を衰えさせる要因が加わると、動脈はたちまち弾力性を失って硬くもろくなっています。他に動脈硬化の引き金には、過剰な中性脂肪、糖尿病、痛風、偏食、たばこ、ストレス、運動不足などですが、特に中年を過ぎての肥満は注意が必要です。快眠・快食・快便という言葉がありますが、何事もバランスのとれた生活が大切です。又ガンと言えは「不治の病」の様に言われますが、早期発見・早期治療で治るケースが増えてきました。ガンは自覚症状が出てからではお

そく、無症状で年一回の定期検診が大切です。ガン年令は四十才頃からと言われますが、三十五才を過ぎたら定期検診を受けましょう。最近では成人病のほかに、心の問題も健康に大きく関わり、老年期のうつ病が増えています。核家族が進む中で、孤独感にさいなまれる老人も多く寂しい、寂しいと思いつめず、趣味等を持って、生きがいを作る事に心掛ける事も大切です。希望を持ち、情熱を絶やさない事も、健康の必要条件です。近頃健康に対する関心も高まってきましたが、まだまだ無関心の人も見られます。検診等も、意識のある人は毎年受診していますが、無意識、無関心層は全く受診しないという、受診層の定着、マンネリ化が見られますが、特に無意識、無関心な方達に問題があるのではないかと思います。役場でも成人病予防として59年度は各種事業を計画していますので大いに関心を持って参加していただきたいと思ひます。健康は各自一人一人が関心をもち、実行することから始まります。

「なおる成人病、なおさぬあなたの無関心」にならぬ様気をつけたいものです。



- ①ガン検診
胃腸検診 9月18日～21日の4日間
婦人検診10月26日～27日の2日間
(子宮、乳房、卵巣)
- ②結核レントゲン検診
12月6日～13日の7日間
- ③健康に関する講演会
6月、11月、2月に予定しています。
- ④健康づくり講座
原則として第4金曜日午後。

美容と

健康のために

あなたも一緒にテニスをやりましょう！
男女を問わず高齢者の方で初心者を対象とします。
技術に関係なく、楽しみながら、気持ちいい汗を流してみませんか。
また、「ねこ背」の方や前かがみの姿勢の多い仕事をお持ちのみなさん、胸をはって弓をひきませんか。正しい姿勢と健康増進のために、弓を引いてみてはいかがですか。
くわしい事は、山下 保(電話二三〇九番)まで御連絡ください。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

篤志寄附金
田代町
社会福祉協議会

さきに逝去されました、次の御遺族より、香典返しとして社会福祉協議会へ多額の御寄付を賜りました。
厚く御礼申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

福留 一雄様
山口 フイ様
柳田 つたえ様
庭月 一郎様
中島 忠太郎様
大園 和則様
小川 ツルエ様



昭和59年度小組合新役員決まる

昭和59年度小組合役員名簿(正副小組合長・婦人会長)

部落名	小組合長	副小組合長	婦人会長	副婦人会長
下	小 榎 正 夫	大 浦 義 美	木 佐 貴 房 子	西 川 ア イ 子
馬 場	並 松 一 男	岩 下 尚 之	吉 永 イ ツ 子	
東ノ原	牛 牧 正 行	小 榎 昌 節	嶋 児 洋 子	湊 原 鼠 子
長 谷	前之園 敬一郎	牧 原 道 夫	松 元 ス ミ 子	原ノ後 ナル子
西中郡	木 場 忠 忠	上玉利 良 照	谷 口 ト ク 子	宮 園 タ チ 子
東中郡	表 木 幸 六	今 村 悟	前之園 ミ キ	山上 良 子
橋ノ口	中 原 操	益 満 渡	上 原 サ チ 子	中 原 雪 枝
中 村	宮 園 栄	正 木 敏 之	宮 園 ミ チ 子	有 里 ナ ミ 子
山 下	南 園 貢	南 園 悦 郎	湯ノ谷 洋 子	牧 原 節 子
岩 崎	折小野 六 男	田 原 正 夫	市 来 タ キ 子	榎 本 美 和 子
表 木	中 島 茂	毛 下 義 光	竹 下 和 子	門 前 カ ズ エ
折小野	堀ノ内 四 男		宮 前 ヨ ミ	
山ノ口	馬 込 廣 信		田 中 ト キ 子	上 東 シ ゲ 子
西大原	大 原 護	中 野 利 美	中 野 ヒ ロ 子	山 元 ナ チ 子
東大原	坂 口 勇 男	大浦地 光 徳	川 前 秀 子	大 原 ト ミ 子
中 尾	横 原 利 己		山 野 ミ ヨ 子	松ノ下 イ ツ 子
新 田	田 尻 静 夫	田 尻 盛 秀	白 井 み や 子	三 浦 秀 子
内ノ牧	川 田 武 夫	岩 切 虎 男		
重 岳	原 口 一 則			
鶴 戸 野	宮 原 正 久		宮 元 エ ミ 子	中 島 ひ ろ 子
久 木 野	松 元 浅 雄	(会計) 藤崎正美	石 原 ユ リ 子	
盤 山	山 田 秀 文	川 畑 康 広	伊 藤 綾 子	山 田 セ イ 子
富 田	上永頼 国 義	永 田 長 則	野 口 ル リ 子	君 付 ア ヤ 子
平 石	平 石 健 二	南 義 弘	小 園 イ ト エ	上吹越 ヤ ス 子
柴 立	西 秀 徳	林 正 美	舞 原 順 子	平 石 恵 子
上 柴 立	池 田 鉄 雄	頼 口 勝	小 園 望 子	小 園 モ リ 子
上 原	安 楽 学	毛 下 久 夫	田 中 ミ チ 子	松 田 イ ツ 子
原 沢	白 桃 晋	川 辺 益 美	原 沢 ミ ツ ノ	
池 野	浜 田 孝 郎	川 前 嘉 秋	亀 石 カ ズ 子	川 前 良 子
鶴 戸 口	鶴戸口 正 則	(会計) 千石勝雄	中 野 イ ク 子	時 吉 ハ ツ 子
猪 鹿 倉	猪鹿倉 務	川 路 正 夫	山 口 ナ リ 子	川 路 ヨ ネ 子
島 洲	島 洲 貞	平 原 六 男	平 原 シ ゲ 子	平 原 ミ チ 子
早 瀬	小 路 亨	宮 原 順 一	小 路 り つ 子	宮 原 ち づ 子
郷ノ原	尾長谷 昌 美		米 森 和 子	袖 山 久 子
辺 志 切	近 川 政 道	近 川 兼 美	辺 志 切 和 子	近 川 和 子
鶴 園	柳 田 正 則	水 流 五 三	久 保 利 子	小 川 カ ヨ
営林署住宅	谷 悦 朗			
麓 住 宅	福 山 福 蔵	重 留 尚 雄	永 吉 房 子	山 中 博 子
大原住宅	日 高 純 蔵		加治木 マ サ 子	

春の 5月13日～19日
「行政相談」週間



国民の権利や利益を守る上で心強い「助っ人」である「行政相談」を、より多くの方に知ってもらうために、行政管理庁では毎年春と秋に「行政相談週間」を設け、行政相談活動の紹介につとめています。

今年の春の行政相談週間は、5月13日(日)から19日(土)までの1週間。

だれもが気軽に利用できる「行政相談」を、この機会に一層身近なものにしてください。

＜田代町行政相談＞

日時、5月17日 午前10時
場所、田代町老人福祉センター

町税納期一覧

昭和59年度の税目別納期は次のとおりです。

すべての税が納期内に完納できるよう、町民各位の御理解と、一層の御協力をお願いします。

税目別納期

税目	第1期			第2期			第3期			第4期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
町 県 民 税			◎		◎		◎		◎			
固 定 資 産 税	◎			◎			◎		◎			
軽 自 動 車 税	◎											

税目	第1期			第2期			第3期			第4期			第5期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
国民健康保険税		◎		◎		◎		◎		◎		◎			

簡易保険還元融資から、三千四百四十万円を受けて、総事業費一億一千百万七千円で、溝下団地に三階建て、十二戸の公営住宅が建設され、今年三月完成しました。
この住宅一戸の間取りは、六畳二間、四畳半一間に七畳の台所、バス、トイレ、ベランダ付となっています。



簡易保険積立金還元融資事業
溝下団地公営住宅完成

教育だより

力強くスタート、田代小

新学年度を迎え、四名の新しい先生が入れかわり、早ひと月半が過ぎました。

ピッカピカの一年生三十四名と転入生四名が仲間入りし、児童数、男子一〇九名、女子九十九名、計二〇八名は、新学期のさわやかな出発に、眼を輝かせ、意気さかな姿をみせています。

本校は、県の山坂達者推進校に指定され、児童の体位、体力の向上に、研究、実践を重ね、豊かな心身を兼ね備えた子供づくりに、二年間、取り組んでいきます。

また、特色と風格のある学校づくりに、郷土の特色に根ざして、健康でたくましい子供。よく考え、進んで学習に取り組む子供。親切で思いやりのある子供。礼儀正しくきまりを守る子供。ねばり強く、最後までやりぬく子供。を目指し、生き生きとした、すべての子供にいきとどく教育を推進し、日々、変わりゆく学校を期待していきます。

PTA戸数は一五一戸。昨年度は、PTAの協力をいた

だき、すばらしいアスレチック施設の完成を見だし、環境整備に力添えをおおき、学校環境が充実した中でのスタートに、力強さを感じます。

交通無事故を願って

四月十三日に第一回目の交通安全教室を実施しました。

「道路の安全な歩き方」をテーマに、あいにくの小雨模様にもかかわらず、子供たちは傘を片手に、整然と列をなして勉強しました。

道路の歩き方、横断歩道を渡る時の注意などを、一つ一つ確認しながら交差点を安全に通ることから実践し、次に体育館でおまわりさんの話を聞きました。

新一年生を迎え、新学年に進級した緊張感からか、児童は真剣に話しに聞き入り、また、おまわりさんも身振り手振りを交えながら、「横断は右を見て左を見て、もう一回右を見て、それから手を挙げ、車が止まったら急いで渡りましょう。」と、わかりやすく話をしてくださってとても有意義な一時間でした。

昨年度は、とびだしによる事故が二件起り、けがをした児童がいましたが、本年度は、勉強したことをしっかり身に

つけて、子供たちが事故にあらうことなく、元気に過せれば……と思う次第です。

一年生を迎えて

児童会が中心になって、一年生を迎える会を開きました。一年生が特に喜んだのはゲームでした。

一年生は六年生と二人組を作り、児童会が問題を読みあげ、それに答えていくのです。

また、学級の出し物やプレゼントには、喜びを顔いっぱい浮かべていました。

四年生のおどり、三年生が作った首かざり、五年生が作ったちりばこ、児童会からの花たば贈呈などをうけてとてもしあわせそうな顔で、満足していました。

この気持ちをいつまでも忘れず、楽しい学校生活を送ってもらいたいと思います。

中卒で働く5名の少女

大原中

高校進学率が96%を越えた現在、今年大原中20名の卒業生中5名の女生徒が実社会へ進路を求めて旅立った。3名は鹿屋市内の病院で看護婦の見習いをしながら看護婦学校へ学び、2名は滋賀県の繊維関係の会社へ就職、それぞれ一ヶ月が経過した。

先日鹿屋市内の病院に彼女らを訪ねた。中学時代の制服を脱ぎ白衣に身を包んだ姿は清楚で輝いてみえた。

「先生、一回だけ『オペ』にも立ち合ったことがあります。

朝の検温や診察のお手つだいなどします。」と語る顔は中学時代とは違った喜びにあふれている。患者さんのことを話すときの声はもう働く者の喜びを感じている声である。同僚のこと学校のことなどなど話したいことが次々と口から出てきた。「夜の急患のときはそれでも学生（准看学校に通っている人）がまっ先に起きなくちゃいけないのです。全く暇のない日もあります。」と仕事の厳しさを語る声にも張りがあった。

入社後入学する高校の制服を身につけて出発のあいさつに訪れた二人からは入社後の第一報があったので紹介したい。

「新入社員は計一二〇名、北海道から沖縄まで各地から集まりました。6：30頃起床朝食後、初めの一週間は午前中、学院長さん、労働組合の人、工場長さんの話、午後からは職場に入って実習でした。仕事場に分かれて機械の名称

を覚えて、次の日のテスト機械の操作などあり、はつきりいつて疲れます。九日初めて八時間労働しました。足が痛くて痛くて……。私たち二人は精進です。機械がたくさんあって音の大きい所です。いろいろ仕事をします。立ちっぱなしです。……」とつらい仕事にと悩んでいるががんばっている様子がうかがえます。

「こちらに来て思ったことは友だちつき合いをうまくしなければならぬのと正直でなければいけないことなどたくさんあります。」社会人として生きる上で大切なことを僅か一ヶ月ほどで感じ取っています。社会へ飛び出した5名の少女のスタートは順調のようです。高校へ進学した15名の一部の自転車で楽しげに登校する姿を見受けます。彼ら若者たちの足どりを暖かく見守ってやらねばと思っています。

オトビックス

・全国版画コンクール
(郵政省主催)

九州地区

入選 有馬 千恵

努力賞 川崎 康己
有馬 孝

昭和五十九年度社会教育行政施策決る!!

本年度の社会教育を推進するための基本的な考え方や努力点等が決まりました。市民の皆様方の生涯教育の場となるよう各種学級講座・事業等を計画しておりますので、積極的な参加をお願いします。

目 標

(1) 青少年育成団体への指導助言

(2) 成人教育の振興

(3) 学習相談事業の実施

(4) 婦人学級の開設

(5) 公民館講座の開設

(6) 母親セミナーの指導助言

(7) 高齢者学級の開設

(8) PTA教育講演会の開催

(9) 各種婦人団体の育成

(10) 高齢者団体の育成

(11) 社会体育の振興

(12) 一ファミリー・一スポーツ・レクリエーションの奨励

(13) 各種スポーツ大会の開催

(14) スポーツ教室の開設

(15) 体力テストの実施

(16) レクリエーションの普及

(17) 町体育協会への指導助言

(18) スポーツ少年団の健全育成

(19) スポーツ傷害保険の加入促進

(20) 町民運動の推進

(21) 図書館の整備充実

(22) 視聴覚教育の充実

(23) 16ミリ操作講習会の実施

(24) 文化活動の促進

(25) 文化団体の育成

(26) 文化講演会の実施

(27) 県巡回劇場公演

(28) 伝統行事の継承

(1) 文化財保護と活用
(2) 文化財説明碑の設置
(3) 文化財案内板の設置
(4) 史跡巡り学習会の実施

昭和59年度 公民館講座生募集!

年々高まる市民の学習要求にこたえるために各種学級講座を開設しています。生涯学習時代といわれる今日、学校教育のみの知識で生涯を送れた時代と違って急激な社会の変化に伴って必要な知識量が増大し、学校修了後も学習を継続していかなくてはならない時代となってきました。このような時代の要請に即応するため次の通り三つの講座を開設します。

図書館のご利用を

町の図書館（町開発センター内）が装いをあらたにし、本がきれいに整理されました。新刊書、ベストセラー等多数入荷しております。読書は人生の楽しみを倍加し、豊かにします。どうぞ遠慮なくお越しください。

講座名	カ メ ラ	郷 土 史	習 字
学習内容	○カメラの基本(種類としくみ) ○写真の撮り方 ○写真の鑑賞と編集 ○接写の技法	○田代の古代から現代までの歴史の概観 ○現地探訪会	○ペン習字の基礎 ○毛 筆
学習回数	10	10	10
募集定員	20	20	20
学 習 日	原則として毎月一回 土曜日の午後	原則として毎月一回 金曜日の夜間	原則として毎月一回 金曜日の夜間

募集要項

(1) 開設場所
町開発センター 二五二一

(2) 対 象
町民、又は町内勤務者

(3) 受講料
無料(但し、材料費等の実費が必要なきもある。)

(4) 申込み方法
ハガキ又は電話にて、住所氏名、連絡先等を明らかにして申し込んでください。一人で二講座以上申込みれてもかまいません。

(5) 締切り
5月21日までに申し込んでください。(定員に達し次第締切ります。)

(6) 開講式
六月中旬(各人に文書で通知します。)

(7) その他
○開設期間は原則として、6月から2月までとします。

○詳細な学習内容及学習日時等は開講式の日講師を交えて話し合い決定します。

※一人で学習するには粘り強い根気と努力が必要ですが、皆さんと集まって学習すると楽しく、しかも仲間が増えます。多数の参加を!

各種学級生募集中

先の公民館講座と並行して次のような学級を開設します。只今、各関係団体を通じて教室生の募集を行っています。奮って申込んでください。

△婦人学級▽

○一般教養を高め、婦人の生活の向上を目指しながら仲間づくりをすすめる。

○主な学習内容は、映画、調理、着付、七宝焼、リボンフラワー、和紙工芸、講話等。申込みは各地域婦人会長さんまでおねがいします。

△家庭教育学級▽

○家庭での躾や子どもの教育について、両親共々学習し、健全な家庭づくりに役立てる。○主な学習内容は、教育講演会、子どもの成長発達について、両親の役割、学習、進路適性、親子対話等。

申込みは各小中学校へおねがいします。

△乳幼児学級▽

○小学校入学前の子どもの持つ父母が乳幼児期の子どもの育て方について勉強する。

○主な学習内容は、映画、親子レクリエーション、講話、町外研修、おやつのお与え方等。申込みは田代幼稚園か町教育

花瀬祭町内一周駅伝大会

田代町役場(一般)大原中(学生)学生(優勝)



一勢いスタート

恒例の花瀬公園祭町内一周駅伝大会が十八チームの参加を得て、四月三日、花瀬公園―大原―新田峠―麓―川原―花瀬公園のコースで行われました。

今年は初参加のチームは見られませんでした。昨年の大会にもまさる力走ぶりが随所に見られ、沿道の町民の皆様方の声援にこたえていました。

うす曇りの絶好の天候の下午前九時に一勢にスタートした各チームの選手は、それぞれのチームの期待をになつて走りしました。

昨年優勝の大隅授産センターが一区で出遅れ、レースは混とんとしてきました。結局一区から幸先よくとび出した役場チームが一般の部で優勝委員会までおねがいします。

し、学生の部で大原中学校が二年連続優勝をかざりました。また、大原中は一般の部も総合して完全優勝を成し遂げました。

本大会は、町民の健康づくり村づくりの一環として行われましたが、町民の総親和を図る上でも意義ある大会となりました。

最後に、大会役員としてご協力をいただきました町体協理事の方々や交通安全協会の方々、田代分校の女子生徒の皆さんに感謝申し上げます。

◎成績は次の通り

1 位	役 場
2 位	早瀬・郷原
3 位	大隅授産センター
4 位	農 協
5 位	盤山 B
6 位	辺志切
7 位	猪鹿倉
8 位	鳥 潤
9 位	内之牧
10 位	平 石
11 位	鶴 園
12 位	盤山 A
△学生部▽	
1 位	大原中
2 位	田代分校

3 位	田代中 A
4 位	田代中 B
5 位	バレー B
6 位	バレー A
△区間賞▽	
1 区	表木 愛忠(役 場)
2 区	早瀬 利浩(田代分校)
3 区	唐仁原浩一(〃)
4 区	白桃 茂(鳥 潤)
5 区	川崎 康己(大原中)
6 区	宮園 守(役 場)
7 区	福岡 良和(農 協)

町開発センター及び体育施設の有効活用について



大原中一総合優勝

町民の文化活動及び健康体力づくりのため、開発センター各運動施設を広くご利用していただいております。利用率も年々高くなり、社会教育社会体育を推進する上でたいへん喜ばしく思うところです。ところが、残念なことに利用者数の増加と共に、ときどきマナーが問題になります。町民の財産として皆んなの施設であり、お互い気持ちよく

く利用するために規則がありますので、しっかりと守ってくださいようお願いいたします。

青少年健全育成の町宣言

青少年は、明日の郷土を担うかけがえのない後継者であり、青少年を心身共にたくましく、健やかに育成することは町民みんなの願いであります。

しかしながら、全国的に青少年の非行は著しく増加し、戦後第三のピークを形成しつつあり、その内容も低年齢化一般化、集団化の傾向を示しシンナー等の薬物乱用、校内暴力を初めとする暴力非行が多発するなど誠に憂慮すべき社会問題となっています。

このような事態に対応するには、町民一人ひとりが青少年問題に関心をもち、健全育成への体制づくりが必要です。町内各関係団体が、諸事業を通じて一生けん命取り組んでいます。まだまだ各地域の盛り上がり欠けるようです。

町民各位が町内に住む青少年に関心を示すことが、非行防止につながり、明るい地域社会となります。町議会の宣言を契機により一層健全育成の雰囲気盛り上げましょう。